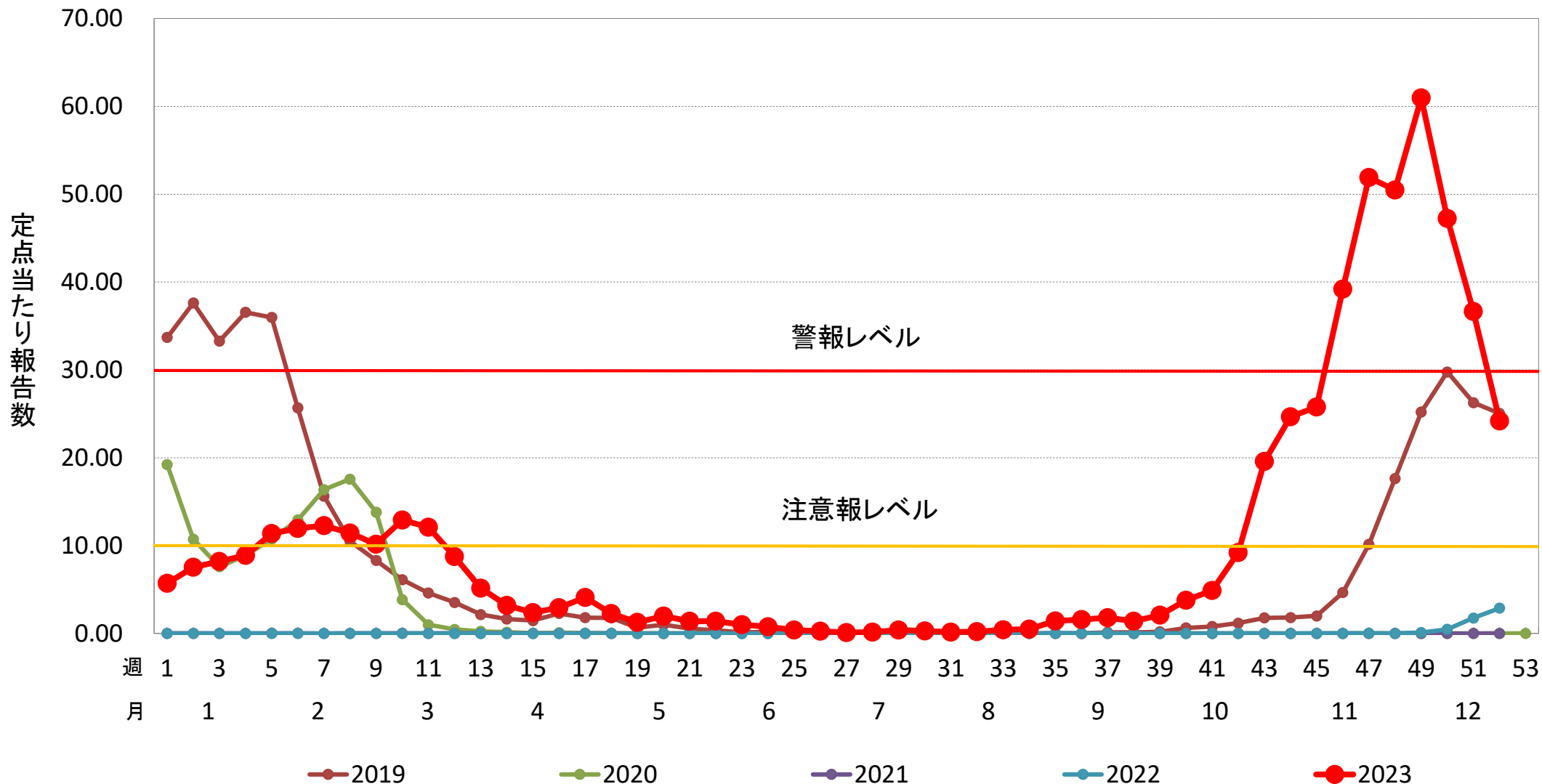


# 北海道におけるインフルエンザの定点当たり報告数（2019～2023年）

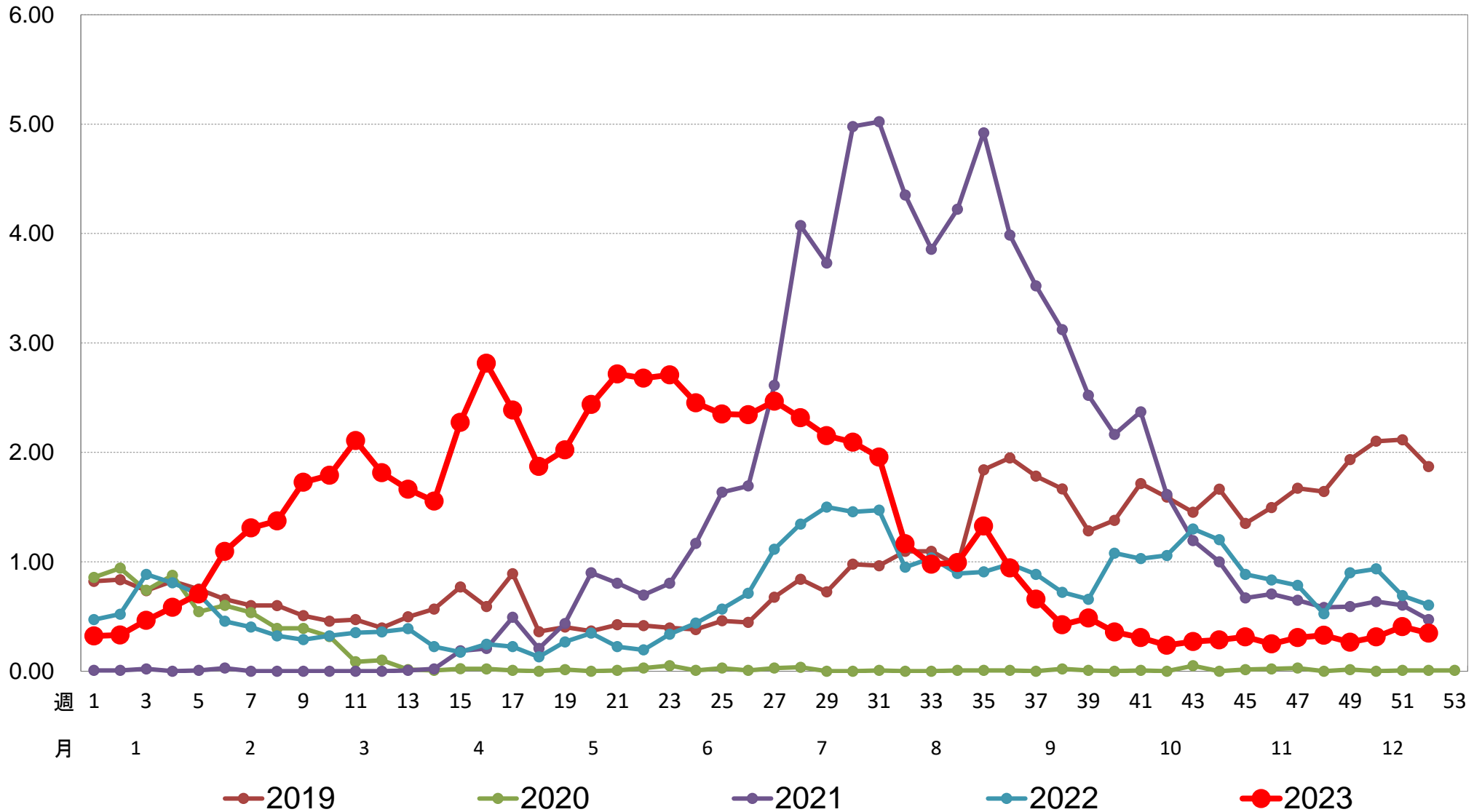
資料4-4



- 2023年は過去5カ年で最も流行の立ち上がりが早く、報告数が多かった。
- 流行のピークは第49週で1医療機関あたりの報告数が過去5カ年で最多の60.97人であった。

# 北海道におけるRSウイルス感染症の定点当たり報告数（2019～2023年）

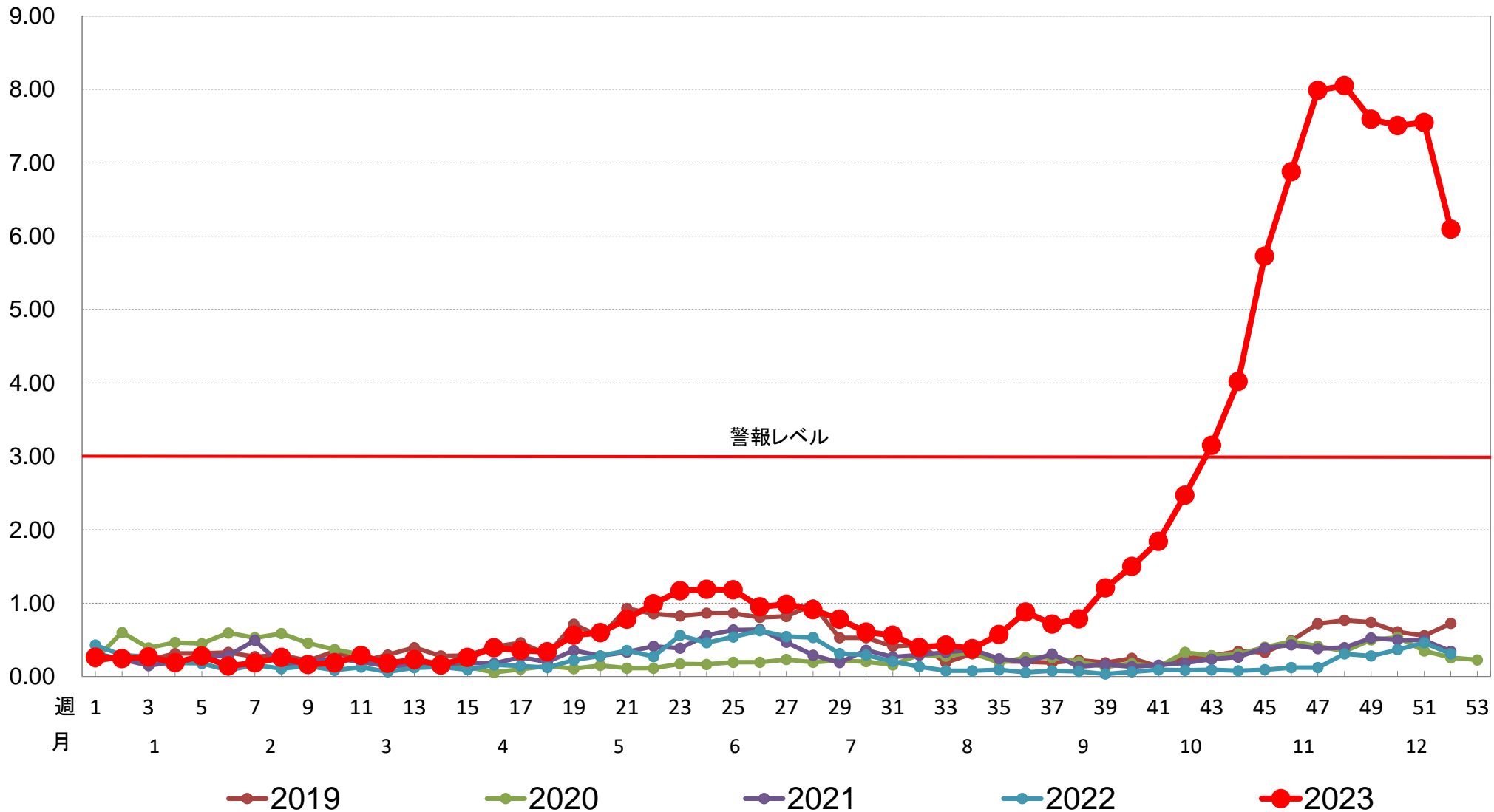
定点当たり報告数



- 例年初夏から秋にかけて流行が確認されていたが、2023年は2～8月にかけて流行が確認された。

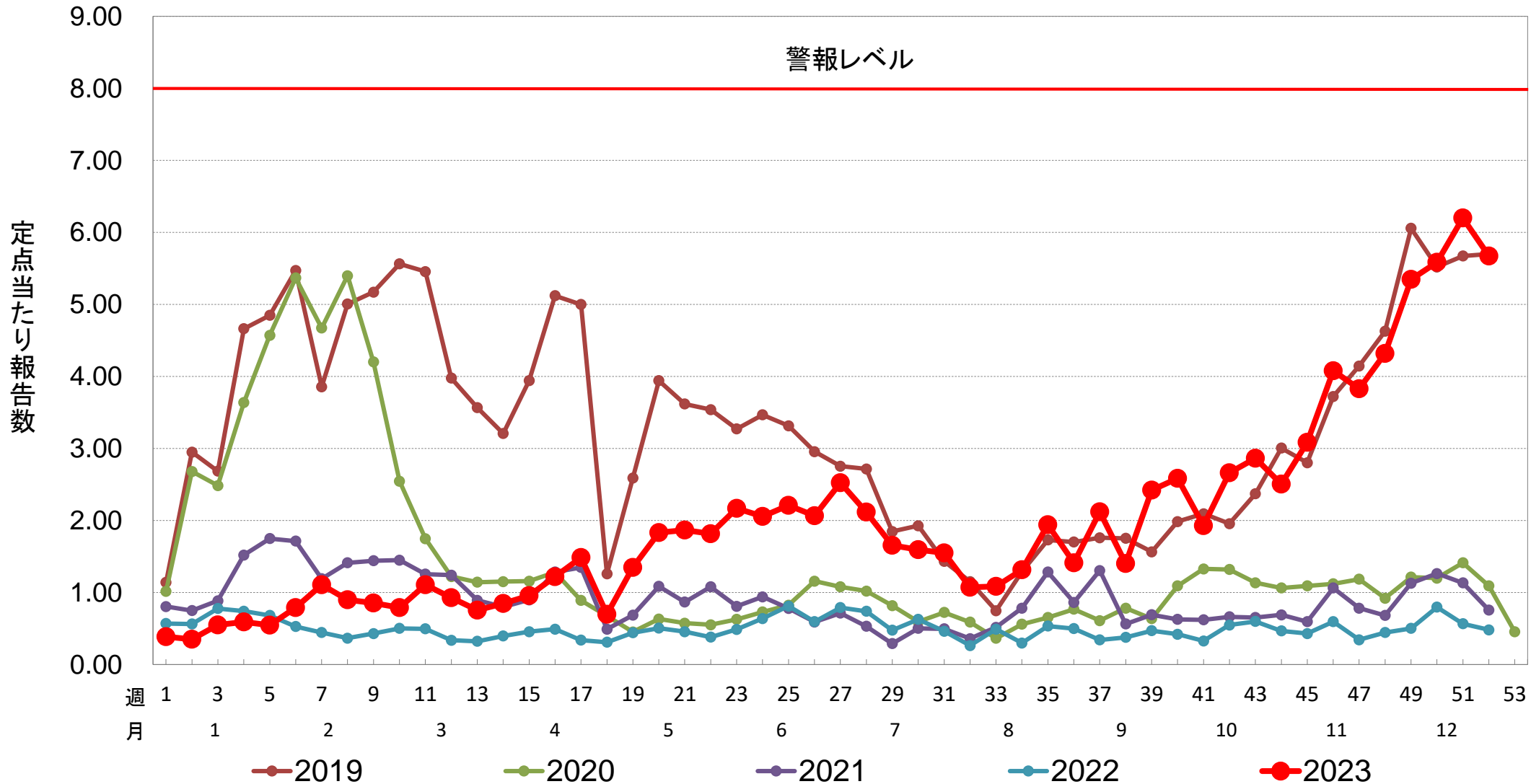
# 北海道における咽頭結膜熱の定点当たり報告数（2019～2023年）

定点当たり報告数



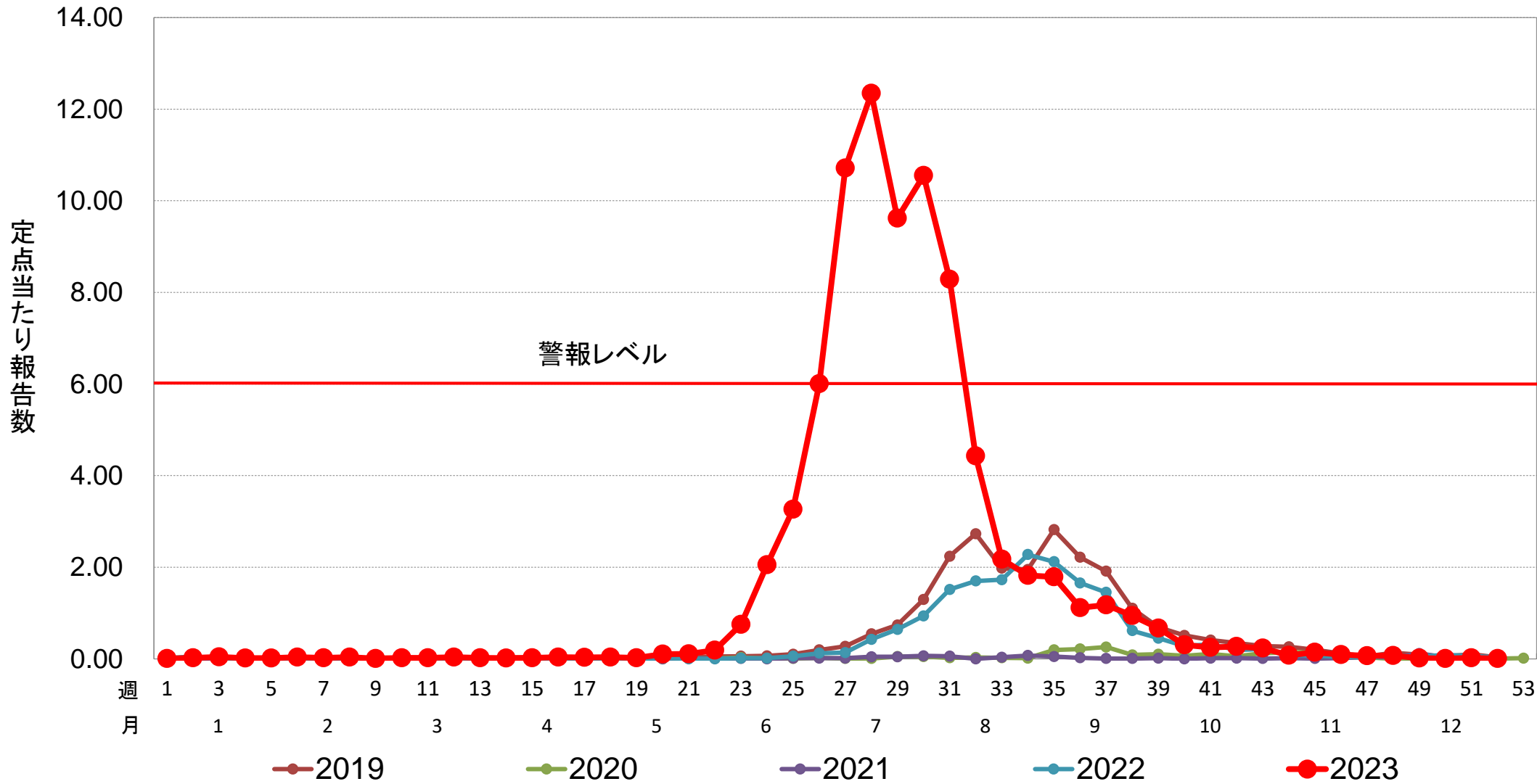
- 例年6～8月に流行していたが、2023年は9月から増加しはじめた。
- 第48週で1医療機関あたりの患者数が過去5カ年で最多の8.05人であった。

# 北海道におけるA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数（2019～2023年）



- 2020年春以降は大きな流行はなく推移していたが、2023年は秋頃から継続して増加傾向にあった。

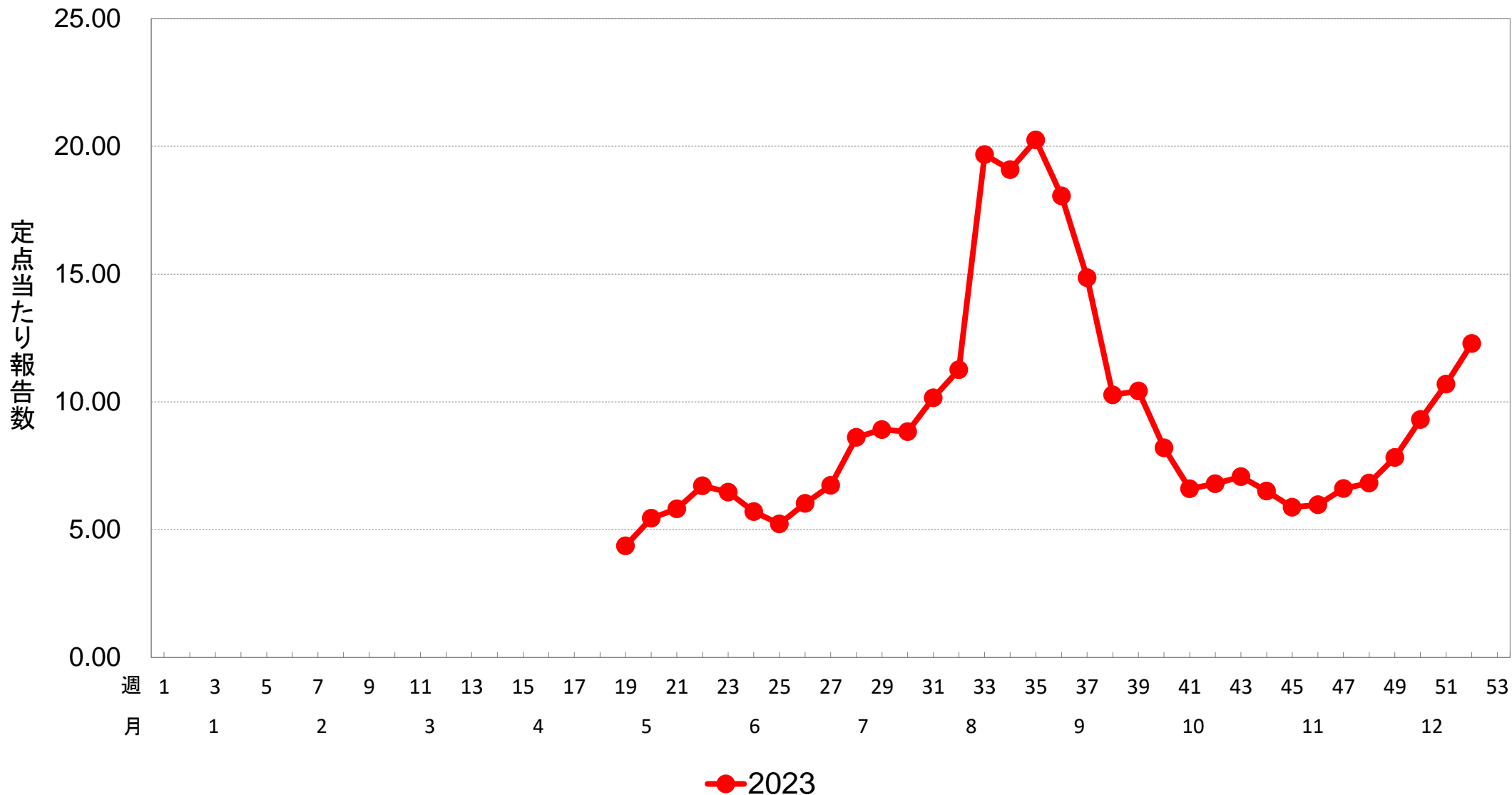
# 北海道におけるヘルパンギーナの定点当たり報告数（2019～2023年）



- 例年7～9月に流行しており、2023年は例年よりも早く6月頃から流行がみられた。
- 流行のピークは第28週で1医療機関あたりの報告数が過去5カ年で最多の12.35人であった。

(出典) 感染症サーベイランスシステム (NESID) に基づき作成

# 北海道におけるCOVID-19の定点当たり報告数（2023年第19週～）



- 2023年5月8日（第19週）より5類定点把握疾患となった。
- 流行のピークは第35週で1医療機関あたりの報告数が20.25人であった。